

# 東海経済レポート(2022年4月)

2022年4月26日

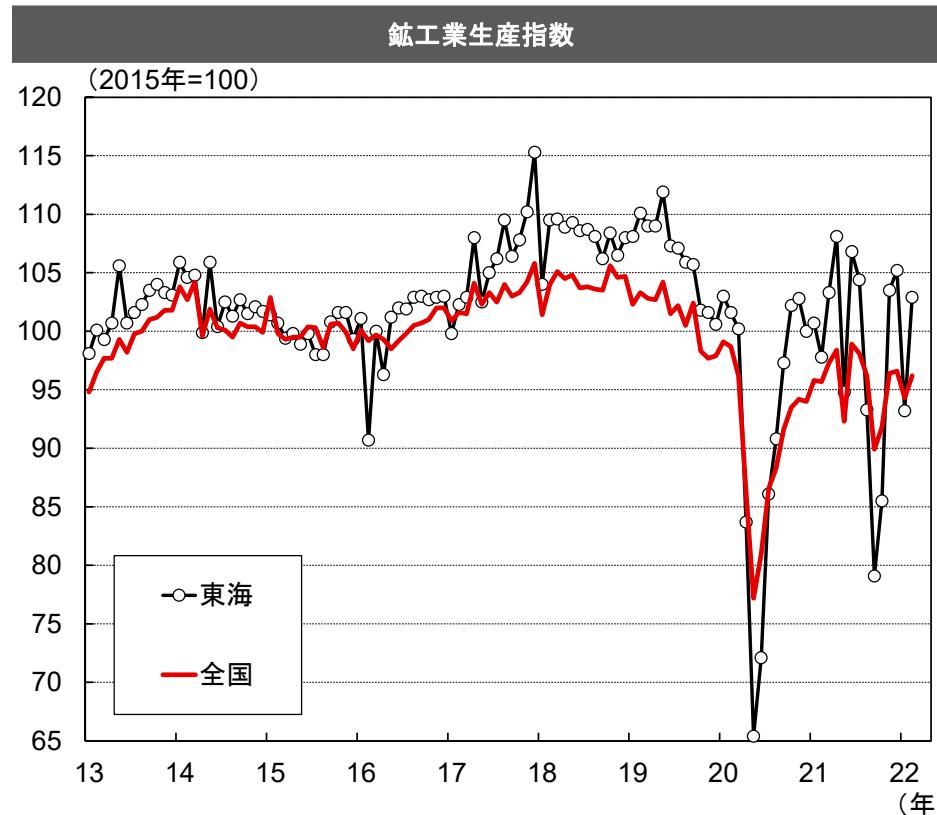
三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

三菱UFJ銀行



## 概況・生産

- 東海経済は持ち直し基調にあるが、ウクライナ情勢の急変を受けた資源価格上昇など下押し圧力が強まっている。
- 製造業は、資源高のほか、半導体などの部品供給制約の影響が依然として残存しており、生産回復の重石に。一方、飲食や運輸、宿泊などのサービス業については、新型コロナウイルスの感染が概ね落ち着いた状態が続くとの前提に立てば、経済活動正常化の動きに伴い回復していくことが見込まれる。
- 2月の鉱工業生産指数は前月比+10.4%と2カ月ぶりに上昇、水準は102.9とコロナ禍直前の2020年2月(101.6)を上回った。業種別にみると、輸送機械(同+23.6%)、電気機械(同+4.7%)、生産用機械(同+4.7%)、電子部品・デバイス(同+2.4%)いずれも上昇。



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

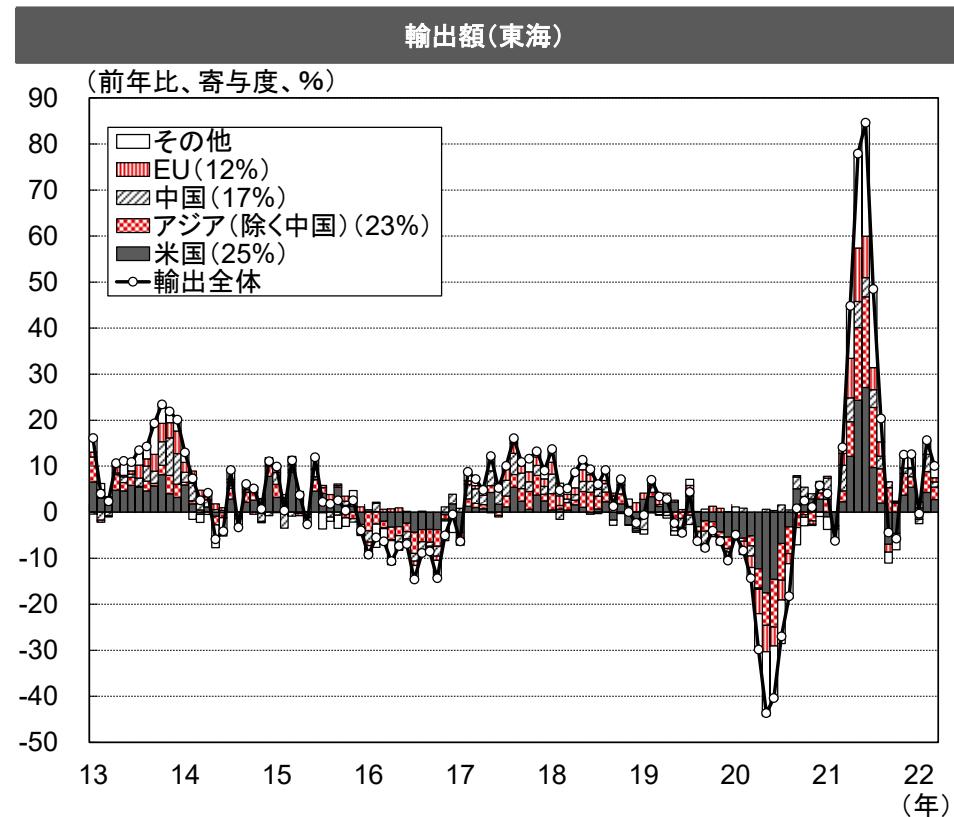
## 景況感・輸出

- 3月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは49.3(前月比+10.6ポイント)と2カ月連続で改善も50を下回った。まん延防止等重点措置が解除された一方、ウクライナ情勢の悪化が懸念材料に。
- 3月の輸出額(円ベース)は前年比+10.1%と2カ月連続で増加。地域別では、アジア(除く中国)向け(同+12.4%)、米国向け(同+11.1%)、EU向け(同+6.5%)、中国向け(同+6.4%)いずれも増加。品目別では、工作機械(同+32.8%)、電気機器(同+18.8%)、一般機械(同+13.3%)、自動車(同+4.1%)いずれも増加。



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。

(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。

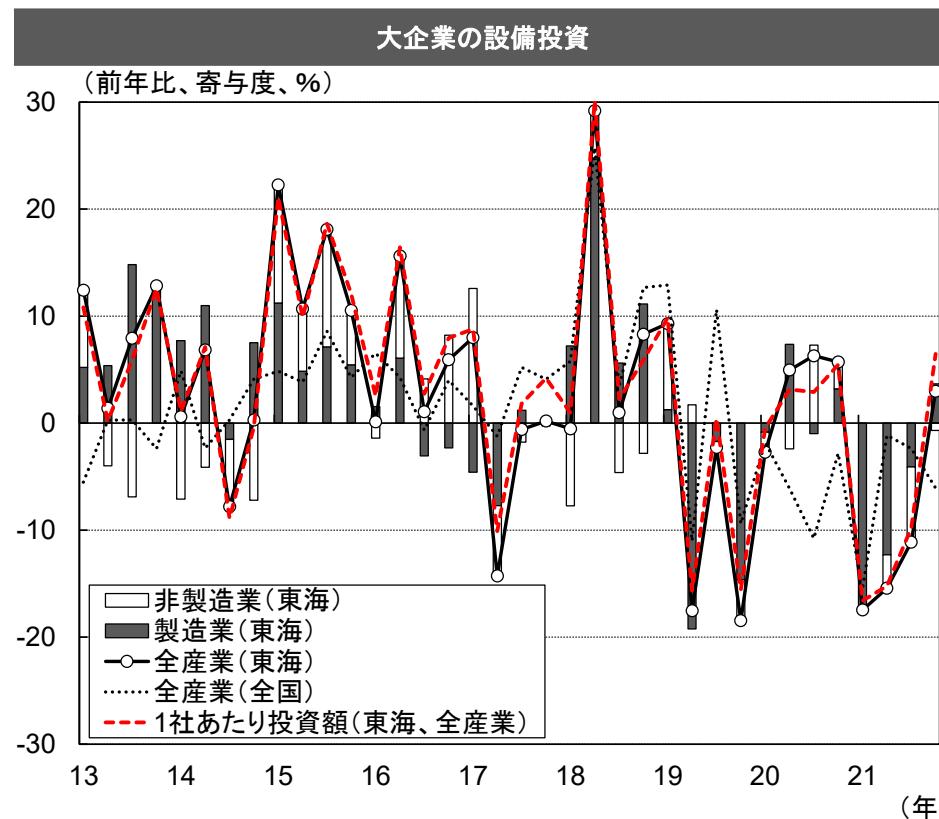
2. ( )内の数値は2021年輸出総額に占めるシェア。

3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。

(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 設備投資・機械受注

- 昨年10-12月期の大企業の設備投資は前年比+3.0%と4四半期ぶりに増加。製造業が増加に転じたことに加え、非製造業は減少幅が縮小。
- 3月の全国の工作機械受注額は前年比+30.2%の1,664億円と17ヵ月連続で増加。このうち、外需は同+21.8%と17ヵ月連続で増加、内需は同+48.3%と13ヵ月連続で増加。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。

2. 資本金10億円以上の企業を対象。

3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。

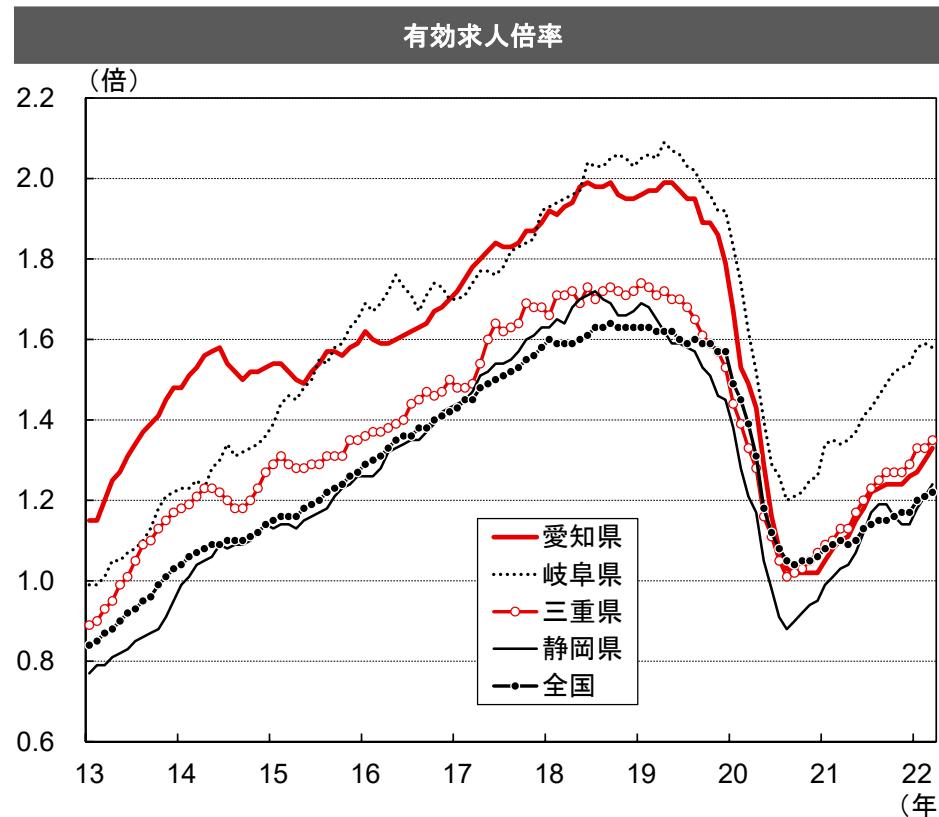
4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。

(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

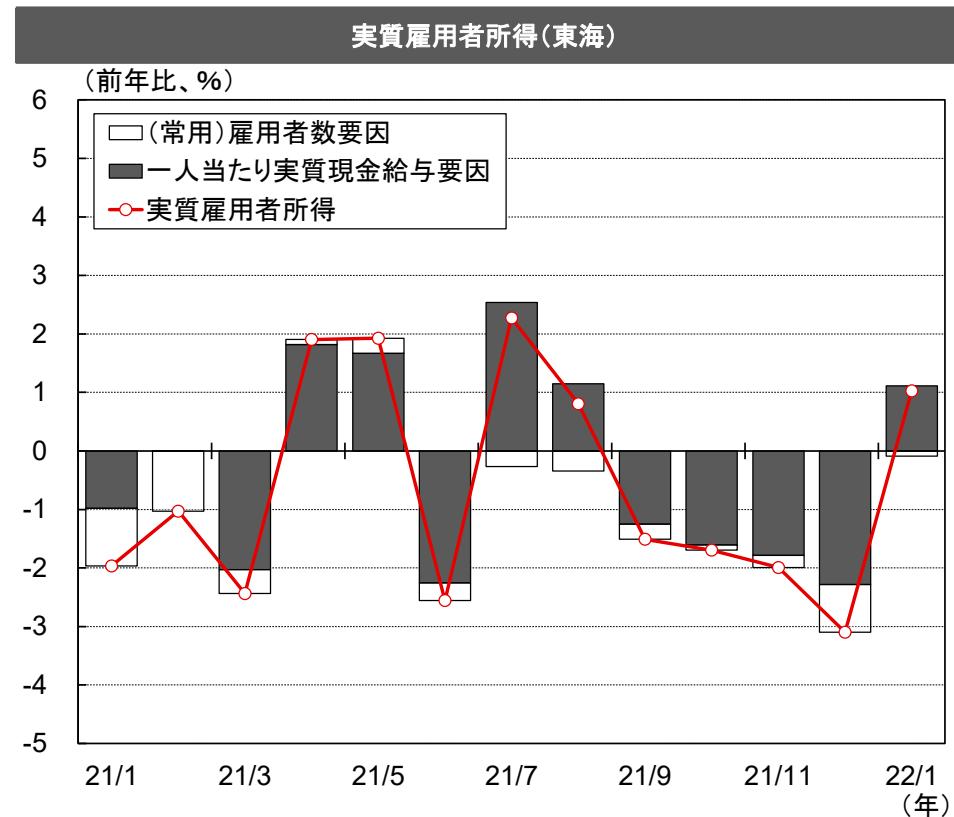
(資料)日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 雇用・所得

- 3月の有効求人倍率は愛知県と三重県、静岡県で上昇、岐阜県は低下。全国との比較では、いずれの県も上回った。
- 1月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比+1.0%と5ヵ月ぶりに増加。一人当たり所得の増加が全体を押し上げ。



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

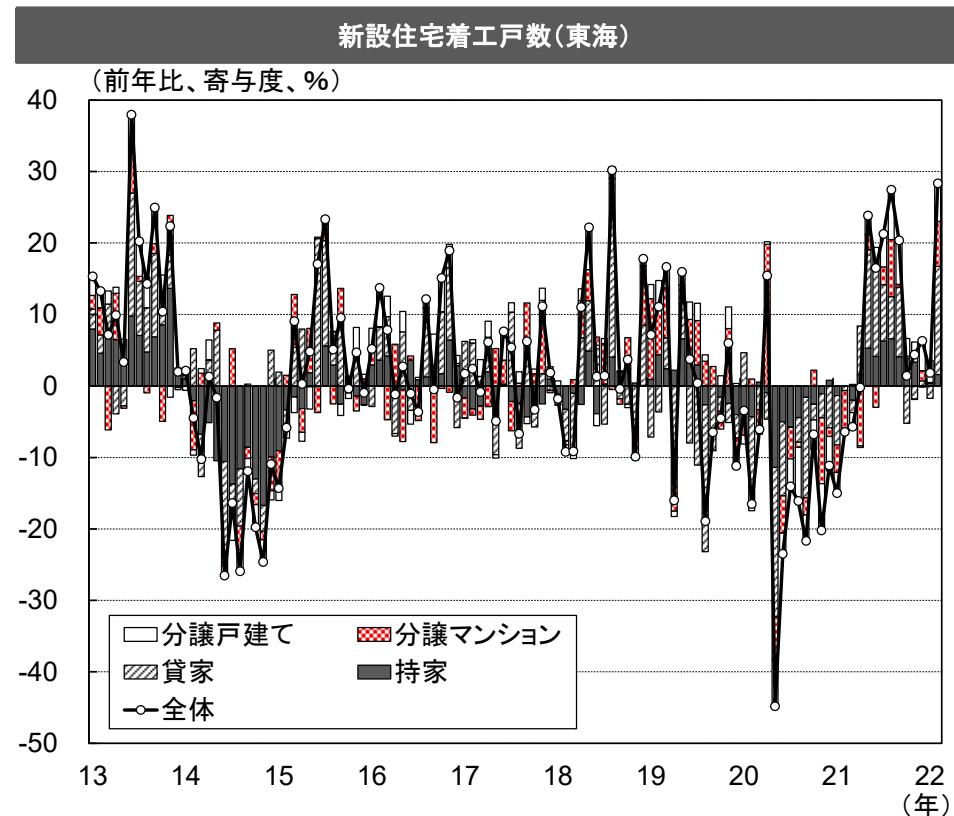
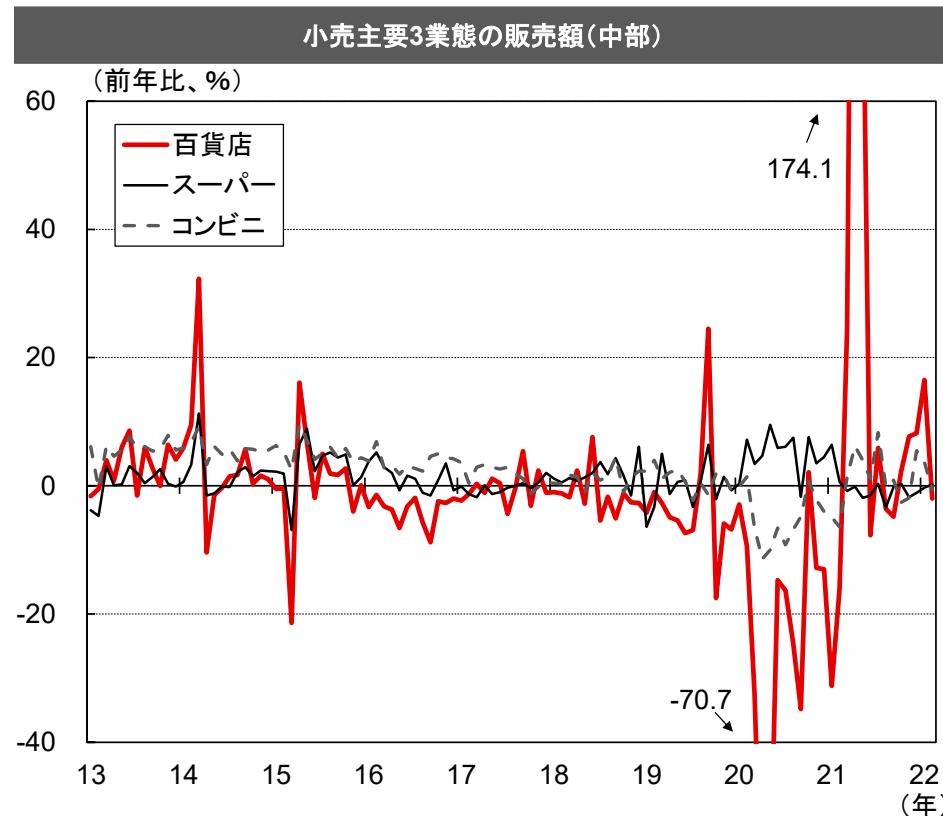


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

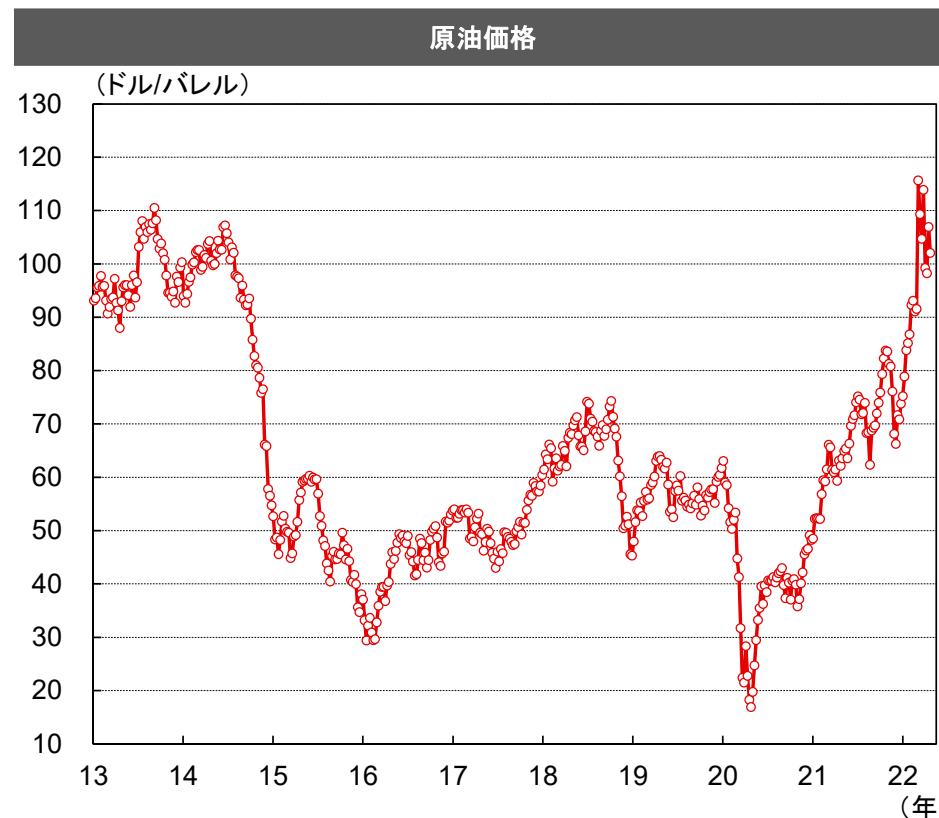
## 個人消費・住宅投資

- 2月の小売主要3業態の販売額は、スーパーが前年比+0.2%と増加した一方、百貨店は同▲2.0%、コンビニは同▲0.8%と減少。コロナ禍前同月と金額水準を比較すると、スーパー(1,402億円)は上回った一方、コンビニ(879億円)は9割程度、百貨店(301億円)は8割程度に止まっている。
- 2月の新設住宅着工戸数は年率8.2万戸、前年比+27.9%と10カ月連続で増加。用途別では、分譲マンション(同+69.8%)、貸家(同+53.4%)、分譲戸建て(同+22.6%)、持家(同+3.9%)いずれも増加。水準はコロナ禍前同月を2割程度上回った。

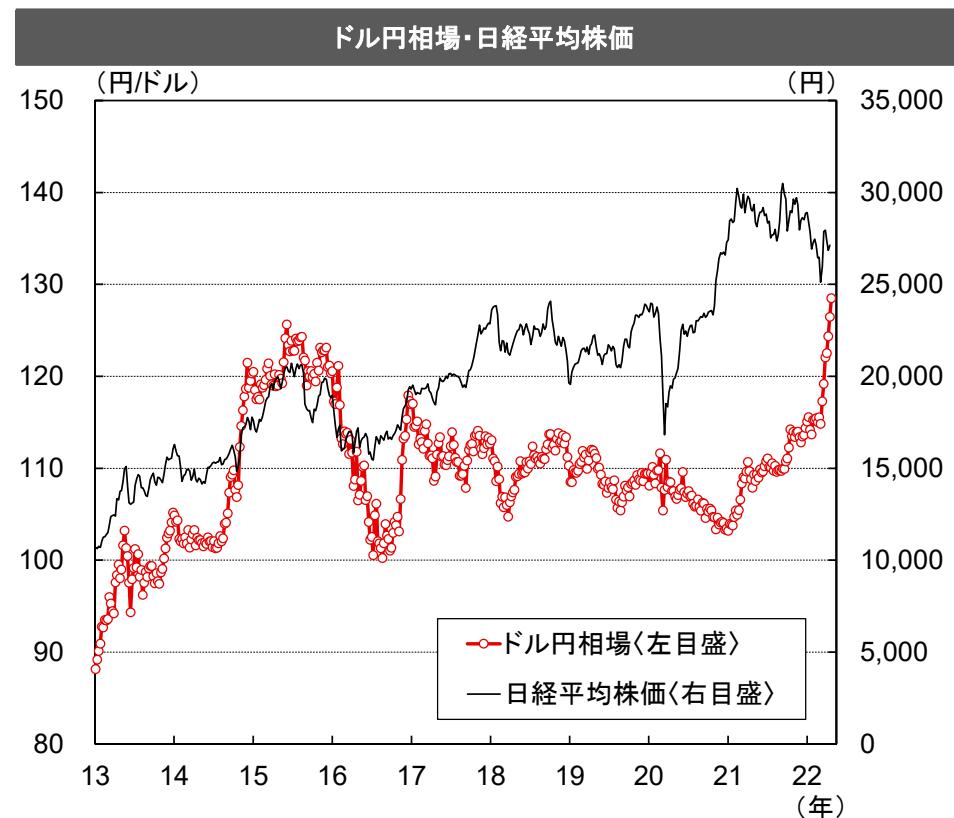


## 原油価格・円相場・株価

- 原油価格は、中国で感染抑止のための厳格な行動制限措置が相次いで導入されていることなどを受け原油需要の減退観測が強まり、足元は1バレル100ドル程度で推移。
- ドル円相場は、日本と米欧の金融政策のスタンスの違いを背景とした金利差拡大を受け、およそ20年ぶりとなる1ドル129円台まで一時下落。
- 日経平均株価は、ウクライナ情勢を背景とした物価上昇や米欧における金融政策正常化への警戒などから上値が重く、足元は2万7千円前後で推移。



(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。  
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できる  
と思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。  
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により  
保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎 e-mail : takuro\_nakamura@mufg.jp